

令和5年度水産多面的機能発揮対策シンポジウム

長崎市の藻場の保全活動について

長崎市水産農林部水産振興課

長崎市の紹介

- ▶ ◆長崎市は、九州の西端、長崎県の南部に位置しており、西側に五島灘、南側に橘湾、東側に大村湾といった海に面している。
 - ▶ ◆市内は平坦地が少なく、住宅が山の斜面に多く建ち並んでいるなど、独特の景観を形成している。
 - ▶ ◆江戸時代に日本で唯一の海外との窓口であった出島など、数多くの歴史文化遺産や独特の異国情緒を有するとともに、被爆地としての平和の発信など、国際交流の拠点となっている。
- ◆人口：39万3,112人
(令和5年12月時点)
- ◆面積：406.4km²



長崎市の紹介（名所、観光スポット）

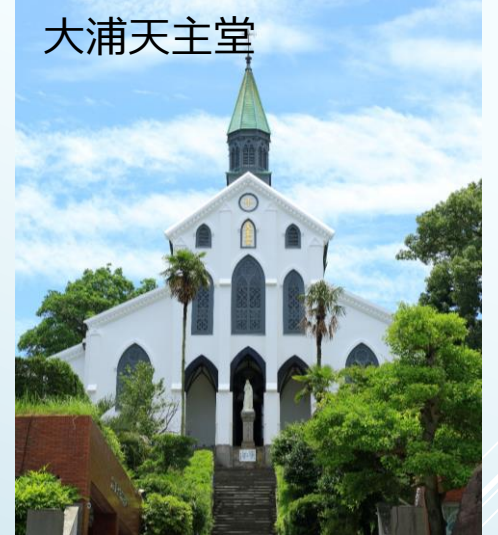
端島（軍艦島）



グラバー園



大浦天主堂



眼鏡橋



恐竜博物館



長崎市の紹介 (祭り、食)

ペーロン競漕



長崎くんち



長崎ランタンフェスティバル



ちゃんぽん・皿うどん



トルコライス



カステラ



長崎市の水産業

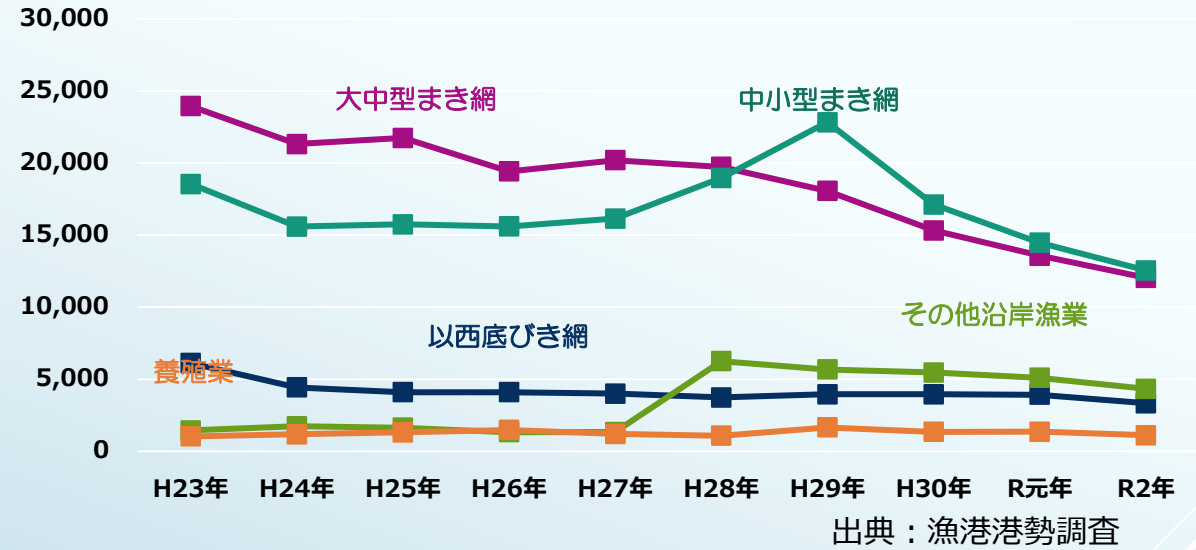
◆漁業種類ごとの漁業生産量の推移

年		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
漁業種類	全 国	4,692,819	4,786,267	4,712,564	4,701,049	4,561,463	4,305,100	4,244,345	4,370,587	4,150,678	4,185,013
	長 崎 県	321,172	273,348	271,020	275,620	333,367	329,724	330,164	316,830	254,009	250,966
	長 崎 市	51,088	44,254	44,520	41,909	42,872	49,757	52,164	43,218	38,401	33,357
海面漁業	以西底びき網	6,113	4,429	4,098	4,092	4,002	3,726	3,955	3,957	3,918	3,329
	大中型まき網	23,949	21,315	21,741	19,415	20,192	19,731	18,062	15,325	13,563	12,038
	小型底曳網	171	185	212	237	198	147	181	207	199	179
	中小型まき網	18,542	15,593	15,742	15,602	16,140	18,963	22,824	17,123	14,468	12,550
	敷 網	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0
	刺 網	225	229	231	148	124	265	244	315	316	279
	小型定置網	217	288	181	146	233	416	353	342	299	250
	かご漁業	7	29	44	31	38	39	36	40	34	30
	はえ縄	93	77	83	79	75	1,242	1,150	1,048	940	846
	いか釣	1	1	1	1	1	35	42	31	28	24
	一本釣	359	337	368	320	300	3,348	3,135	3,019	2,723	2,385
	採 貝	11	12	14	11	20	44	15	23	18	13
	採 藻	6	17	16	10	9	1	3	4	5	4
	その他の漁業	356	560	480	343	336	718	498	438	532	320
小 計	50,050	43,072	43,212	40,435	41,668	48,675	50,513	41,872	37,043	32,247	
海面養殖業	魚類養殖	1,034	1,180	1,305	1,474	1,170	1,049	1,615	1,309	1,326	1,071
	貝類養殖	4	2	3	0	34	33	36	37	32	39
	小 計	1,038	1,182	1,308	1,474	1,204	1,082	1,652	1,346	1,358	1,110
漁獲金額 (百万円)	14,045	13,000	13,063	12,010	12,021	17,784	18,597	13,342	14,009	11,624	

出典：漁港港勢調査（※のみ）海面漁業生産統計調査

(トン)

◆長崎市の漁業生産量の推移



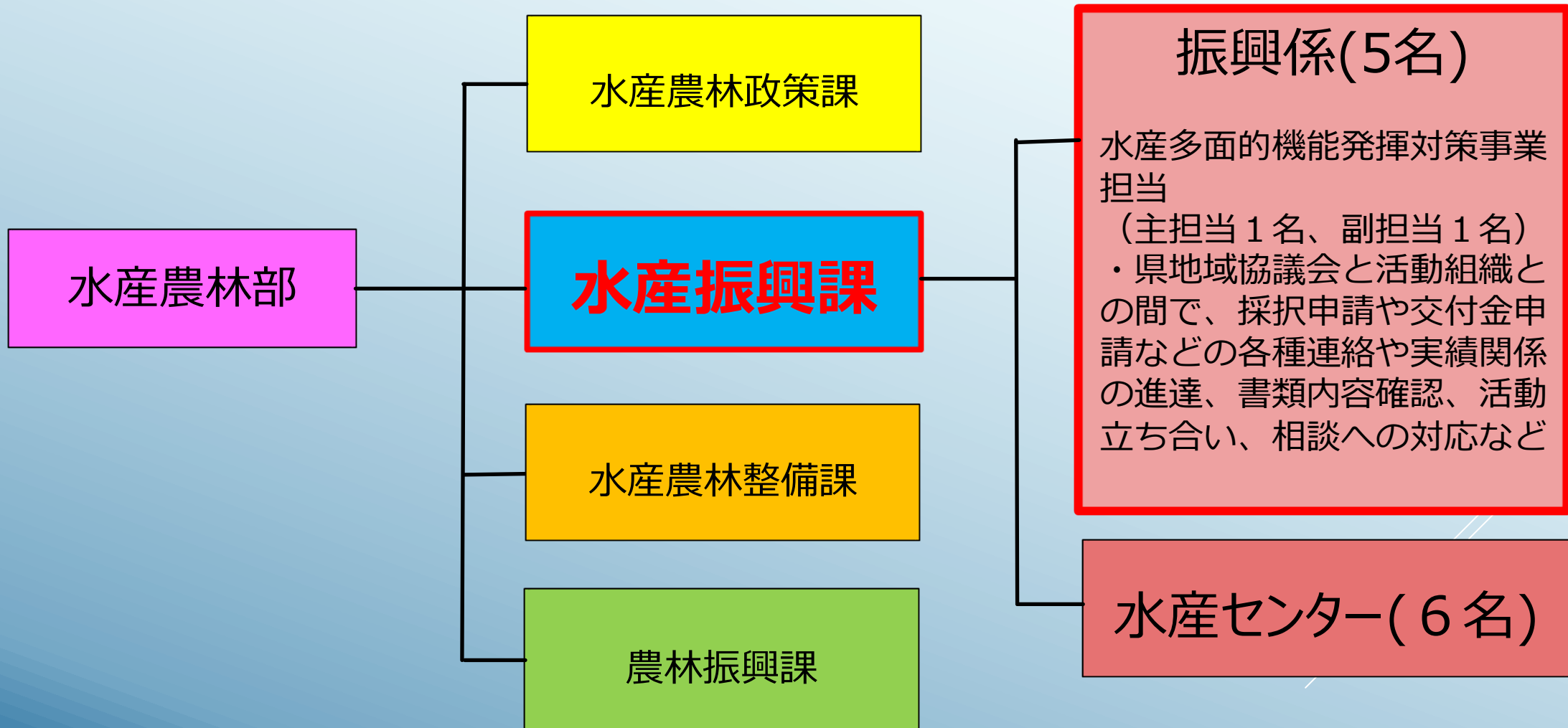
◆長崎市の漁業生産額の推移



出典：漁港港勢調査

長崎市における水産多面的機能発揮対策事業の体制

◆長崎市水産農林部の組織体制（令和5年8月～）



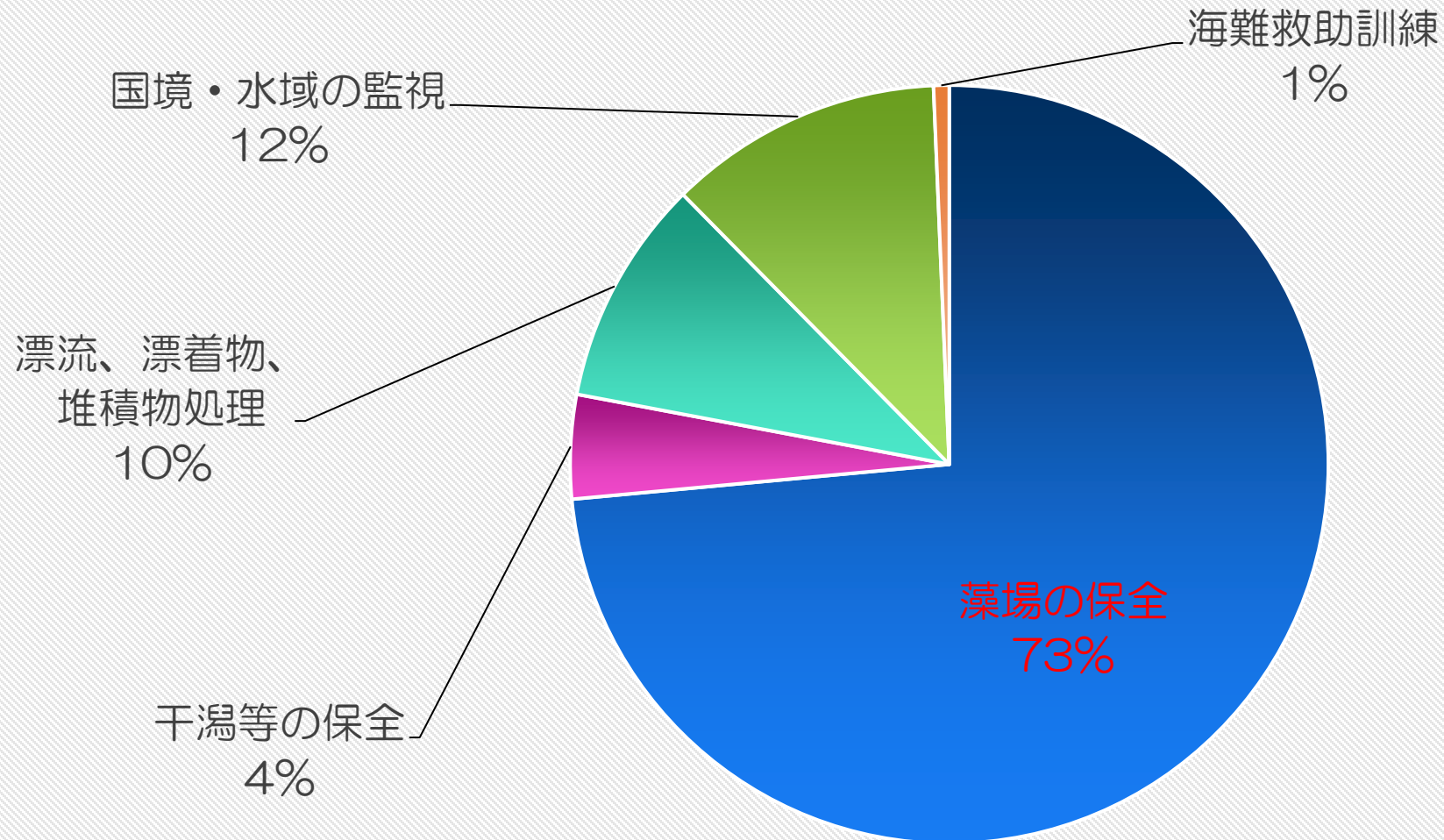
長崎市における水産多面的機能発揮対策事業の位置づけ

◆令和5年度長崎市の藻場回復に関する事業予算

事業名	事業内容	予算規模（千円）
水産多面的機能発揮対策事業	藻場の保全、水域の監視、堆積物の処理など	8, 1 6 1
水産資源再生事業	令和4年度に長崎市沿岸海域に設置した人工藻場礁への海藻や水生生物の着生状況調査等	1, 1 5 0
水産技術試験研究事業 (ホンダワラ類種苗生産試験)	長崎県より受託したホンダワラ類の種苗生産試験の実施	1, 0 1 4

▶この水産多面的機能発揮対策事業が長崎市における藻場回復に向けての主要事業となっている。

長崎市における水産多面的機能発揮対策事業の令和5年度 事業費割合



長崎市内の活動組織の概要（全体）

◆活動開始経緯

活動開始年度	活動組織数
平成25年度	4
平成26年度	2
平成27年度	2
平成28年度	1
平成29年度	1
平成30年度	1
令和5年度	1
合計	12

◆活動項目内訳

活動項目	活動組織数
藻場の保全	11
干潟等の保全	1
漂流、漂着物、堆積物処理	2
国境・水域の監視	7
海難救助訓練	2
理解・増進を図る取組	5

長崎市内の活動組織の概要（藻場の保全活動）

◆活動内容の内訳（令和5年度）

活動内容	活動組織数	方法	活動面積
母藻の設置	4	母藻の海底への設置	平均12.9ha (最大27.0ha、最小4.0ha)
海藻の種苗投入	4	ワカメなどの種苗種糸の設置	
食害生物の除去（ウニ類）	11	船上からの回収（3組織）や、潜水による海中での粉碎若しくは回収（8組織）	
食害生物の除去（魚類）	3	刺網による除去	
保護区域の設定	3	ウニハードルの設置	
ウニの密度管理	2	ウニの移設	
岩盤清掃	1	コンプレッサーを使用した岩盤の清掃	

※藻場の保全活動のうち、ウニ駆除は全ての活動組織にて実施

長崎市内の活動組織による藻場の保全活動（ウニ駆除）

◆長崎市内の活動組織による藻場の保全活動においては、食害生物の除去のうち、ウニ類の駆除が主要な活動となっている。



素潜りによるウニ回収



スキューバダイビングによる潜水でのウニ駆除



送気式での潜水によるウニ駆除



長崎市内の活動組織による藻場の保全活動（その他の活動）

母藻の設置



海藻の種苗投入



食害生物の除去（魚類）



保護区域の設定



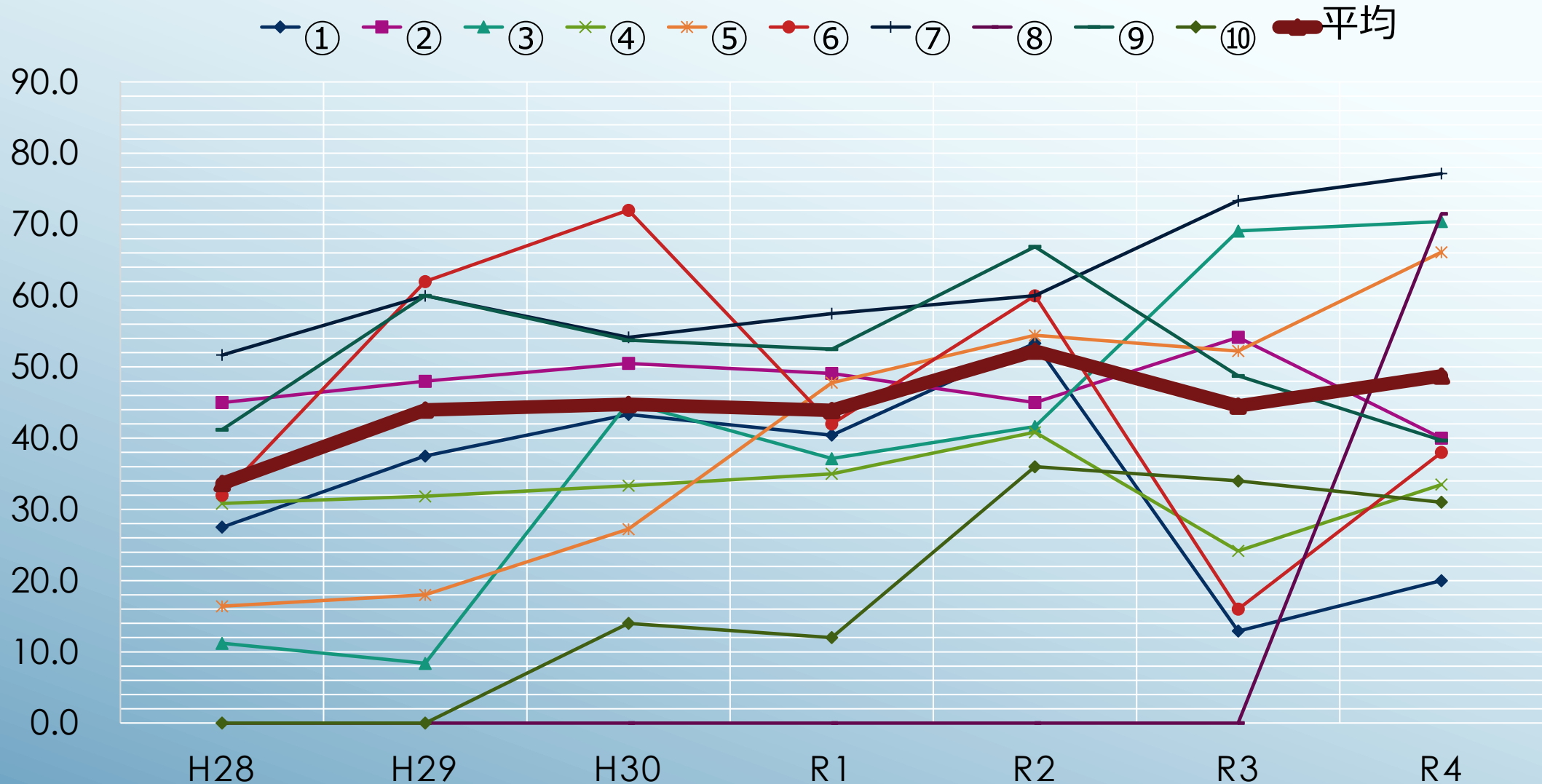
ウニの密度管理



岩盤清掃



藻場の被度の状況



◆モニタリングによる藻場の被度（平均）・・・48.7%（令和4年度：10活動組織）
 ⇒平成28年度と比較して、15%程度上昇

長崎大学全学ダイビングサークルによるボランティアでの ウニ駆除活動

事前打ち合わせ



潜水中



駆除実施中



破碎後のガンガゼウニ



- ◆活動開始：平成29年度
- ◆対象活動組織
： 2 活動組織
- ◆活動回数：年 2～3回
- ◆参加人数：5～6名
- ◆作業時間：1日あたり
1～2 時間
- ◆駆除個数：1人あたり
100～200個
／日

活動組織（漁業者・漁協）との協力体制

◆活動組織との円滑な連絡体制の構築

活動に関する事務処理については、活動組織のほとんどが、漁協職員若しくはOBの方が構成員として加入し事務処理を担っているとともに、連絡先も漁協の事務所となっている。

そのことから、申請や報告の提出依頼など活動に関する連絡や、折り返しの報告などといったやり取りは、全て電子メールにて行うことができおり、迅速な事務処理が可能となっている。（電子メール送付後、メールを送っていることを電話で伝える組織は一部あり。）

行政として苦勞していること

◆現場に行く時間の確保が困難！

全活動組織に対して、少なくとも1年に1回程度は直接自分の目で活動の確認をしたり、地元漁業者や構成員の方々と情報交換をしておきたいが、他業務との兼ね合いもあり、現場に出向く時間の確保が困難な状況である。

長崎は日本一さしみが美味しいまち



ご清聴ありがとうございました

